令和3年3月羽島市教育委員会定例会会議録（抄）

○日 時 令和3年3月25日（木曜日）午後1時30分～午後4時10分

○場 所 羽島市教育センター2階 研修室

（中略）

○出席者

教 育 長	森 嘉 長
教 育 委 員	今井田 眞千子
教 育 委 員	黒 田 淳
教 育 委 員	今 枝 甫
教 育 委 員	春 日 民 奈

○説明のために出席した者

事 務 局 長	不 破 康 彦
教育総務課長	小 川 隆 正
学校教育課長	山 田 健 司
生涯学習課長	酒 井 茂
スポーツ推進課長	箕 浦 勝 博
図 書 館 長	安 田 圭 祐
北部学校給食センター所長	豊 田 崇 宏
兼南部学校給食センター所長	

△開会

（中略）

◎**教育長** 次に、「今年度に教育委員会が実施した新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について」事務局より説明させていただきます。

◎**教育総務課長** 所管施設や事務に係る感染症対策等の内容について、資料に従ってご説明いたします。

事業の評価を行うために委員の方からご意見をいただくものとなります。

教育委員会の所管施設における換気対策、感染症対策及び学校施設における熱中症対策、学習保障等に係る支援に係る事業として、保健衛生器具等の備品、消耗品、デジタル教科書等を購入したものです。

（各担当課長が各事業について説明）

◎**教育長** この件については、各委員の方からご意見をいただく必要がありますので、順に意見をお願いします。

◎今井田委員 感染症対策等はどうしても必要なことなので、実施していくべきだと思います。気になったのは、タブレット端末を家で使う場合に環境が整っているのかを心配している。家庭による差がついてこないかが気になりました。

◎学校教育課長 通信手段については、大きな課題となっていて、今 Wi-Fi 環境が自宅にあるかということは、引き続き調査いたしますが、家庭での使用方法については来年度の大きな課題となっておりますので、検討させていただきます。

◎春日委員 臨時休業に備えてのタブレット端末でもあるので、家に持ち帰って、どんな感じでタブレット学習をするのか、実践できる機会があったら、もし急に何かがあった時にすぐに対応できるのではないかと感じていました。また、空気清浄機とか加湿器の購入でその後の手入れとしてフィルター交換等が必要になってくるが、この交付金で対応になるのか、各学校の予算で対応になるのかと気になりました。

◎教育総務課長 今年度はすでにこの交付金を活用して、フィルター等を買っている学校もあります。今後については、学校に費用負担が伴うこととなります。

◎今枝委員 いくつか感じたことがあるのですが、これは臨時交付金ですが、臨時交付金は今回だけのものなのか。コロナが続いていくと今回交付金で整備した学校の備品に該当するものと消耗品として継続して必要な消毒液等は予算を当然みなければいけないが、臨時交付金がまた交付されるのか。無くすことはできないと思う。

もう一つ、色々な事業があって臨時交付金を使ってタブレット端末の整備等の事業が展開されているが、その活用については、一斉授業と家に持ち帰ることを含めて、対応できる子は先に行くと考えた時に、環境の違いを配慮する必要がある。

情報の環境整備はできたが、今度は教える側として、経験のない先生方が業者のサポートを受けていくにも無料ではないので、その辺りをどうしていくのかというのと、現実的には学校の中で担当者を決めて、あるいは先生が研修して、その ICT のタブレット端末を使った、ソフトも含めてやれる体制を整えていかないといけないと思いました。

学校だけでなく公共施設等も含めて、コロナに対応していくだけの最低限の消毒液などの消耗品等を継続購入できるように臨時交付金のような財源の確保が必要と思いました。

◎黒田委員 同じような意見となりますが、一気に感染予防対策でいろんな備品や消毒液などが入ったり、ICTが充実したりしましたが、これらは消耗品なので、今後の感染対策というのは、この年度限りではなくて、おそらくまだ続くと思いますので、やはり継続した対応が今後も必要だと思います。

もう一つはICTや感染予防なんかを実際にリーダーシップをとってやる教職員が、これからは必要になってくるのではないかと思います。感染予防には養護教諭がみえますが、そういう方の研修の充実とか、ICTを使う関係の研修の充実とか、そういうのが大切だと思う。これだけの交付金をいただいて設置したわけですから、ぜひ今年度限りにならず継続して進めていただきたいと思います。

◎教育総務課長 今回ご説明した臨時交付金については国の2次補正分で、今年に入って国の3次補正がありました。ただ、年度内に事業実施期間が確保できないため、令和3年度に繰り越して実施することとなり、事業としては継続されることになります。

◎学校教育課長 先ほどの学校教育の重点と課題でもお示ししましたが、ICTを使用した学びの推進の中で、教員研修の充実も大きな課題と考えておりまして、例えばロイロノートを入れまして3校くらいは80%くらいの児童が使うような稼働率の学校もあれば、そこまではいかない学校もあり、学校差があるのも現状で、そうあってはならないので、羽島市の児童生徒である以上、個に応じた学びの充実、主体的・対話的な学びということで友達や仲間と使っているもの、あるいは家に持ち帰っても自分の情報リテラシーを高めていくような、活用方法ができるといいと考えております。今後、いかに教員研修を充実し、また、「GIGAスクールサポーター」を来年度2名採用する予定です。ヘルプデスクも1名採用し、わからなければ教員から主体的に聞いていただければと思っています。他方、各学校にはGIGAスクール担当者として、今年度から2名ないし1名を位置づけております。そういう教員を中心に、いかにソフト面を充実していくか、あるいは子供に力をつけていくかということが、本当に大きな課題です。家に持ち帰ってということも想定しながら、また来年度もう少し目に見える形で実績を上げられるとよいと考えておりますので、来年度も所々でご指導いただければと考えております。

◎教育長 それでは、新型コロナウイルス感染症に係る交付金についてのご意見はここまでにさせていただきます。

(以下 略)

△閉会